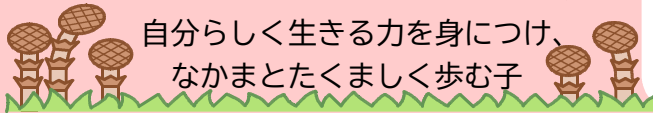




TOGO! だより



自分らしく生きる力を身につけ、
なかまとたくましく歩む子

福井市東郷小学校 学校だより
令和4年10月11日 第22号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

実りの秋！4つの力「たくましさ」をつける活動が、盛んに行われています

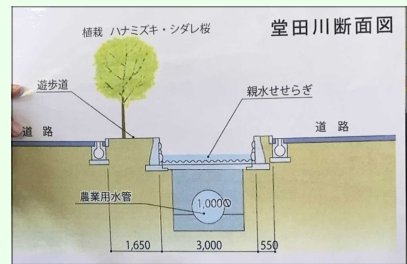
9月中旬から10月に入り、東郷地区について人と関わって調べ、考えをもつ学習が各学年で盛んに行われています。それらは全て「東郷小でつきたい4つの力 ①自分を知り、好きになる力②自分の考えをもち、語る力③失敗をおそれず、挑戦する力④人を大切にして、関わっていく力」を育成するために行われています。子どもたちには、つけた力を150周年式典で思いっきり発揮してほしい(挑戦してほしい)です。その先には「これが今の自分。がんばったな」と、自分を好きになる姿が待っています。



9/15(木) 3、5年生「足羽川用水」の出前授業を受けました

東郷地区には徳光用水(堂田川)が流れ、地域の農業や生活にとって欠かせないものとなっています。この徳光用水を含んだ足羽川用水について勉強しようと、県福井農林総合事務所、足羽川堰堤土地改良区連合より3名のゲストティーチャーをお迎えしました。足羽川用水の始まりは今から千三百年前の奈良時代に、水争いや自然災害との戦いが絶えなかったこと、現在の足羽川用水が戦後に完成して、自然災害に負けない、安心して米作りができる施設に整ったこと、その価値が認められ「世界かんがい施設遺産」となったことなどを学びました。

足羽川土地改良区の漆原様からは堂田川の断面図を見せていただき、私たちがいつも見ている堂田川(親水路)の下に農業用水路が流れていることが一目で分かりました。子どもたちは改めて、東郷地区を流れる「水」の大切さや、それを守っている人々の苦労や工夫について考えをもつことができ、大変貴重な時間となりました。



○堂田川のことをよく知ることができました。一番驚いたのは(パイプラインは)学校のプールを10秒でためられることです。芝政までのびていることもすごいです。また堂田川のことをたくさん教えてください。(3-1 Yさん)



○ぼくはこの授業を受けて、田んぼや農業のことがもっと分かりました。昔と今では土地もちがえば、やり方もちがう。今では機械が自動化されたり、スマホで管理ができたりすることも知りました。(5-1 Gさん)



10/5(水) 1年生 キャリア教育「おもいやるちから」



福井市事業を活用し、青年会議所より3名の方が来校されました。将来の仕事の動機にもつながっていくきっかけとして、家族のために何かしよう、できることはないかなと考える時間を持ちました。子どもたちは「げんかんのくつならべをしよう」「おとうさん、よろこんでくれるかな」と「誰かのためにできること」を一生懸命考えていました。



9/16(金) 2年生「東郷 町たんけん」に行ってきました

友達と協力して東郷にあるものを調べたり、直接インタビューしたりして、地域の人を知ったり自分の生活と関わっていたりすることを考える機会として、東郷町たんけんを行いました。当日は保護者ボランティアとして室谷様、松下様、伊東様に付き添っていただきました。私は東郷駐在所、こびり庵、東郷郵便局、今村呉服店で2年生の様子を見ましたが、どの班も自分たちで目指す目的地にたどり着いたこと、質問をどんどんして**東郷で働く人たちに積極的に関わっていた姿**が大変印象に残りました。



<お世話になったところ (敬称略、順不同)>

東郷駐在所 毘沙門寿司 リリーブ東郷 こびり庵 照恩寺 角枡屋 ひまわりめがね

東郷郵便局 田中自転車 ハチャ電機 小川金物店 今村呉服店 本当にありがとうございました



10/7(金) 4年生「体の不自由な方との交流会」を行いました

4年生は総合的な学習の時間で「人にやさしく 町にやさしく」をテーマに1年間取り組んでいます。これまでに、お年寄り体験や車椅子体験など実際に自分で体験してみることで、**やさしくしてあげたい存在の方がいることを身をもって知り、自分たちはどうしたらよいか考えてきました。**

そして今回、実際に車椅子で生活しておられる齊藤様を講師としてお迎えしました。齊藤様は、交通事故で体が不自由になってしまったこと、足よりも、右手が不自由になってしまったことがとても辛かったことを真剣に伝えてくださいました。でも、4年生から「今の、一番の目標は何ですか」との問いかけに、「自分の使い勝手のいい、自分の家を作ることが目標です」とさわやかに言い切っておられました。また、「4年生はまだ体が小さいけれど、それでも『何かできることはありませんか』と声をかけてもいいですか」の問いには、「ぼくはとてもうれしいです。中には『そっとしておいて』という車椅子の人もいるかも知れない。でも、またそういう機会がめぐってきたら、何度でもトライしてほしい。」とおっしゃっていました。4年生からは質問の手がどんどん挙がり、齊藤様からたくさんのことを学ぶことができました。お礼に、お手紙とメダルをプレゼントしました。

○(車椅子を押して)坂道をおりるのが大変でした。スピードがすごく出て、下の方にすべりそうにな



ったけれど、ちゃんとおりられたのでよかったです。これからは、車いすの人などが困っていたら助けてあげられるようにしたいです。

(4-2 Hさん)



困ること

- 坂道の移動や段差
- 移動中は手がふさがってしまう
- 高いところに手が届かない
- 下に落ちたものが取れない
- 扉を開けるのが大変
- 専用なものが必要
- 時間がかかる
- 選択肢が少ない